



ディベート甲子園で高校の部優勝の県立岡崎高と中学の部3位の高浜市立高浜中の生徒ら

ディベートV、3位 岡崎高と高浜中 報告

「東海地区の強さを示せた」

東京で今月6、8日開かれた「第21回全国中学・高校ディベート選手権(ディベート甲子園)」(読売新聞社、全国教室ディベート連盟主催)の高校の部で初優勝した県立岡崎高、中学の部で3位に入った高浜市立高浜中のメンバーらが30日、読売新聞中部支社を訪れ、大会での奮闘ぶりを報告した。

岡崎高の野々山陽さん(2年)は「昨年準決勝で敗退した悔しさをバネに努力してきた。東海地区のディベートの強さを全国に示せてうれし」と報告。「3月に論議が発表されてから図書館に通ったり、他校と試合をしたりして議論の質を磨いてきた」と、優勝までの道のりを振り返った。

高浜中の内藤聖也君(3年)は「どう準備すればいいかわからない不安があったが、先輩たちがサポートしてくれた。今度以後輩たちにも頑張ってもらいたい」と話した。

足達新・支社長は「新聞は多種多様な意見を提供しており、考える教材にもなる。これを機会に新聞を活用し、考える力をさらに養ってほしい」と激励した。

両校の生徒らは同日、県公館を訪れ、大村秀章知事にも報告した。

デイベート、ソフトテニス

全国大会で好成績

中高生らが知事に報告

8月に東京で開かれ「バート選手権（デイベート全国中学・高校デイベート甲子園）の中学校



デイベート甲子園優勝を知事（右端）に報告する岡山白陵中の生徒たち


の部で優勝した岡山白陵中（赤磐市勢力）の生徒が7日、県庁を訪れ、伊原木隆太知事に結果を報告した。同中の優勝は6年ぶりの2度目。

デイベート同好会の2、3年生6人と大森博幸校長ら計10人が訪問。知事は「徹底的に思考力を磨き、チームワークや努力で得た成果。この経験をさまざまなか場で生かしてほし

い」とねぎらった。中学校の部には地区予選を通過した24校が参加。「日本は地方公

インターネット
山陽新聞社ホームページ
<http://www.sanyonews.jp/>

「平屋」と言えば…

 おかやま住宅工房

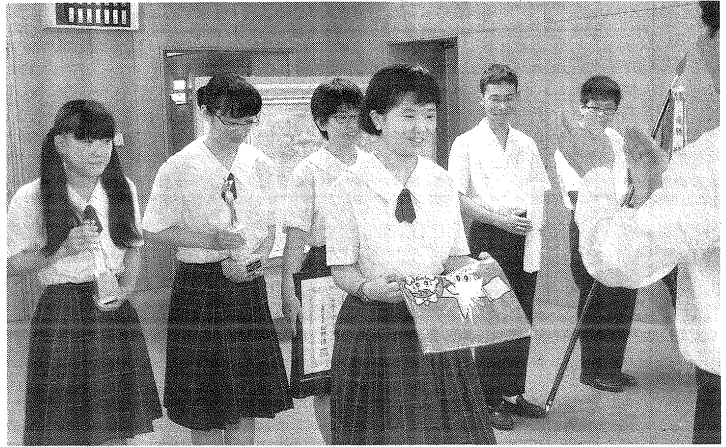
共同体の首長の多選を禁止すべきである。是非か」をテーマに議論を戦わせた。同好会会長の3年高

橋奈々美さん(14)は「地方政治について考える機会になった。相手に伝わる議論を心掛け、結果につながった」と話していた。

この日、全国中学校体育大会のソフトテニス女子団体と個人で初優勝した山陽女子中のメンバーと、岡山を主会場とした中国インターハイ（全国高校総体）のソフトテニス男子個人を制した岡山理科大付属高3年の本倉健太郎さん、上松俊貴さんそれぞれ知事を表敬訪問した。（多田和代）

岡山白陵中生がV報告

ディベート甲子園 知事を表敬訪問



伊原木知事から優勝をたたえられる
岡山白陵中の生徒たち（県庁で）

「第21回全国中学・高校ディベート選手権（ディベート甲子園）」（読売新聞社、全国教室ディベート連盟主催）の中学の部で、6年ぶり2回目の優勝を果たした岡山白陵中（赤磐市）の生徒6人らが7日、伊原木知事を表敬訪問した。

全国大会は8月6～8日に東京都の立教大で行われた。論題は「地方公共団体の首長は多選を禁止すべき」で、肯定、否定の立場に分かれて議論。決勝は肯定の立場で臨み、首長が変わっても政策を継承することで財政改革に成功した実

例を示し、創価中（東京）を破った。

報告を受けた伊原木知事は「大会で鍛えた思考力を色々な分野に生かしてください」とあいさつ。岡山白陵中3年で主将の高橋奈々美さん（14）は「否定、肯定の双方にしっかりとした理由があることが分かり、地方政治を考える良い機会にもなりました」と話し、3年の山本梓紗さん（14）も「普段は出会うことのない全国の中学生たちと、伝える力を磨けた」と笑顔を見せていた。